

第2回トラック輸送における取引環境・労働時間改善 宮崎県地方協議会 議事概要

- 1, 日 時 平成27年12月17日(木)
13時30分～15時13分
- 2, 場 所 宮崎合同庁舎 2階大会議室
- 3, 出席者 別添出席者名簿のとおり

I 開会

事務局より協議会開催を宣言し、議長議事までの間、進行役を務める事を報告。配布資料確認後、委員紹介については委員名簿及び出席者名簿で代える事を報告。運輸労連宮崎県連合会 国部健一郎執行委員長退任に伴い、新たに蛭原厚氏が執行委員長が就任され、委員の交代を事務局より報告。

II 九州運輸局長 挨拶

本日は年の瀬のお忙しい中、ご参集いただきありがとうございます。本協議会は、荷主、運送事業者、行政機関、有識者が一同に会し、トラック輸送における取引環境の改善、長時間労働の問題を改善することを目的とした、画期的な取組となっています。

第1回目の各地方協議会に参加させてもらいましたが、大いに期待が寄せられていると思っています。本協議会は中央でも開催されていますが、それに合わせる形で地方協議会は地方の実情に応じた議論を是非やって頂きたいということで開催されているところです。宮崎県においても宮崎の事情に応じた形で議論を熱心にされることをお願いするところであります。

物流と言うものが我々の生活に密着していることから皆さんの関心が非常に集まっていると思います。このような画期的な協議会を開催することは非常に意義深いものではないかと考えております。運送を担われる運送事業者、生産を担われる荷主の方々がWINWINの関係でご活躍いただき、地域経済の活性化につながっていただくと考えております。

本日は運輸局で実施した荷主ヒアリング結果、9月に全国で実施したアンケート意見集約等発表させていただき、今後の議論に十分役立てていただき、方向性を見いだしていきたいと考えています。限られた時間ではありますが真摯な、忌憚のないご意見を頂き、本協議会を実りあるものになりたいと思っていますのでご協力お願い致します。

白石座長：本日は年末のお忙しい中、委員の皆様方にはお集まりいただきありがとうございます。第1回の協議会が8月に行われ、この間実態調査の集計と分析に取り組んできて、本日はそれを踏まえての協議と言うことになるかと思えます。本協議会の目的はトラック輸送における取引環境の改善及び長時間労働の抑制と言うことを目標にしており、委員の皆様方には是非忌憚のないご意見を頂き、議事の進行にご協力頂きますようよろしくお願い致します。

III 議題

1 第2回中央協議会について

事務局：【資料1】について説明。

白石座長：ありがとうございました。

只今の説明にご意見・ご質問のある方はいらっしゃいますか。

【 ～ 委員からの発言無し ～ 】

2 トラック運送事業における長時間労働の実態調査の報告

事務局：【資料2】について説明

白石座長：ありがとうございました。

只今の説明にご意見・ご質問のある方はいらっしゃいますか。

【 ～ 委員からの発言無し ～ 】

3 荷主ヒアリングについて

《1社目 住宅設備メーカー》

事務局：【資料3 ①住宅設備メーカー】について説明

白石座長：ありがとうございました。

只今の説明にご意見・ご質問のある方はいらっしゃいますか。

【 ～ 委員からの発言無し ～ 】

《2社目 食品メーカー系の冷凍冷蔵倉庫》

事務局：【資料3 ②食品メーカー系の冷凍冷蔵倉庫】について説明

白石座長：ありがとうございました。

只今の説明にご意見・ご質問のある方はいらっしゃいますか。

【 ～ 委員からの発言無し ～ 】

白石座長：ご質問等がないようであれば、次の「全国展開スーパーマーケットの配送センター」について説明をお願いします。

《 3 社目 全国展開スーパーマーケットの配送センター 》

事務局：【資料3 ③全国展開スーパーマーケットの配送センター】について説明

白石座長：ありがとうございました。

只今の説明にご意見・ご質問のある方はいらっしゃいますか。

【 ～ 委員からの発言無し ～ 】

《改善事例のまとめ》

事務局：【資料3 改善事例のまとめ】について説明

白石座長：ありがとうございました。

只今の説明にご意見・ご質問のある方はいらっしゃいますか。

菅野委員：荷主としても、元々顧客の方の指定があるため単純に着時間を遅らせることは販売側と相談しながら進めていかなければならないことだと感じた。パレット積みでの時間短縮を取り組んではいるが、今後の取り組みについて今回の資料を参考にさせていただき検討していきたい。

蛭原委員：若年労働者が続かない要因に腰痛の方が結構いらっしゃる。バラ積みの作業からパレット積みへ移行していただけると労働環境と言う意味では、非常に助かると感じた。

4 意見交換

菅野委員：運輸局が実施したヒアリングでの事例とか拝聴させていただいたが、荷主、運送事業者の取り組み以外に九州運輸局として何か取組とか、実際に行動していることはあるのか。例えば高速道路を安くするとか、労働時間短縮のための取組についてお聞きしたい。

石田自動車交通部長：

労働時間短縮の問題については、個々に特徴があると思われるので、丹念に調べていく必要があることから、各県でこのような協議会を開催させて

いただいている。このことが一番の取り組みである。運送事業者に係る課題については一個一個解決すべく努力を行っています。一面、労働時間だけに目がいきそうであるが実は色々なところで繋がっている問題であり、我々とすればまず安全面を最優先に規制強化をさせていただいているし、事業が健全に行われているか監査を実施している。近年では適正取引の推進という形でガイドラインの作成、燃料サーチャージ制の導入促進、契約書面化の推進等多面的な取り組みでもってあわせて労働時間改善、取引環境が改善していくのだろうと考えております。

白石座長：ありがとうございます。免許制度に関する問題点についてのご意見でしたが、他にご意見のある方はいらっしゃいますか。

牧田委員：運送事業者としての意見であるが、ヒアリングの中にもあったが、月初と16日の倉庫の経過保管料について、事業者アンケートにも出てきたが繁忙期になると倉庫の周りを2周回っても順番が回ってこないといった状況であり、大型冷蔵庫で半日待ちの状況がある。この問題は荷主、運送事業者ではどうしても改善できない問題である。15日毎の保管料が発生する商習慣ではなく日々の保管料契約とする等根本的に改善しなければ永遠に変わらない問題であると思う。このことは運輸局に事業としてやっていただきたい。

石田自動車交通部長：

そういった取り組みは一緒になってやっていきたい。ヒアリングの際にも月初、16日に使用料が発生する経緯を聞いているが、その事情についてほとんど判らないが、それに伴って色んな問題が発生している事をご存じだった。一方で、倉庫業、冷凍倉庫の業者間でこの問題について議論した事がなかったとのことであり、誰かがアクションを起こさなければ進まないと思っている。荷主サイド、運送会社一緒になってご取り組んでいただければと考えている。

また、大分の協議会で別の冷凍冷蔵倉庫の事例が発表され、トラック会社が倉庫会社に待機時間改善の要求をして接車時間の設定や積み込み順番の改善要求が通った事例もあった。やはりどういう事をどうしたら良いのか呼びかけるといのが改善のきっかけになるのではないかと把握したところである。

高石委員：商習慣の中で行くと九州・関西は翌日着、関東は翌々日着と言った商習慣があり現在も続いている。会社ではフェリー利用したりしているが、我々地域の運送業者の荷主は大手運送事業者であり、その幹線輸送をしており、会社の柱となっている事業者も数多くいる。ある大手運送事業者の社長の話で、「我々はコンプライアンスを守っている。コンプライアンスを守れな

い運送業者はダメだ」との発言があったが、現実にはコンプライアンスを守れない部分を全部地場の運送業者がやっていると言うことが続いている。その中に雑貨の到着時間の問題も増えて商習慣となっている。その他の部分はお客様と話しながら到着時間を決めたり、フェリーを利用したりしてやれることはやっているが、構造上の問題として最下層の我々の方から変える事は難しい。今ドライバーはパレット積みでなかったらきついので行かないとはっきり言う。お客さんがそのようなことをやらないと車が集められないという時期に来ているかもしれない。我々業界内部の問題ではあるが、構造上の問題としてなかなか解決できないことを感じている。

白石座長：ありがとうございました。他にご意見のある方はいらっしゃいますか。先程の石田部長の説明の中でもあったが、いろんな事というのは必ず繋がっている。一つ労働時間の問題だけではなくて、パレット作業以外は仕事がきついということで人手不足の問題にも関わってきている。この会はメインの課題として労働時間短縮を目的としているが、荷主、トラック業界、行政の方がいらっしゃるので問題意識を共有して解決していくような方向で是非お願いしたい。

岩切委員：青果物輸送は出荷物もなかなか定まらない、季節波動が大きいと言った事で運送事業者にはご迷惑をおかけしている中、運ぶ人がいなくなるということで危機感を持っている。その中でゆとりある輸送と言うことで大阪以西2日目、関東3日目の商習慣を1日伸ばそうとやっているところである。大部分はやれつつあるかと思っているところであり、良い事例があれば教えて頂きたい。またパレット輸送をやりたいが、夏場のウイング車輸送では冷気が逃げたり、卸し箇所が多ければ厳しいかなと考えている。いろんな意味から知恵を拝借したいが、取り組みは行っているところである。

本田委員：トラック協会の定温輸送部会で去年一年間の大型免許取得者を調べたところ県内500社のうち664名だった。全員が運送会社に勤務するとしても1社あたり1.3名。今現実に普通免許から大型免許まで取得するのに約80万円かかる。準中型免許制度が施行されれば85万~90万円かかる。そうなったときに今の若い人で大型免許を取得してトラックドライバーになろうかという人がいなくなるのではないかと思う。免許関係なので警察の管轄なのだろうが、中型免許が出来たおかげで4トン車に乗れていたものが2トン車にも乗れない。今度は2トン車位までは乗れるようになるのだろうが、高校生の就職先確保のため出来た準中型免許が果たして喜んで良いものかと考える。運転手も高齢化になりパレット輸送やカーゴ輸送に切り替わっていかないとますます労働力不足で車を動かす人がいなくなるのではないかと心配している。

白石座長：ありがとうございました。他にご意見のある方はいらっしゃいますか。

伊藤委員：我が社は青果物輸送を行っている。先程経済連の岩切委員からも発言があったとおり改善したくても改善できない現状にあるのは確か。パレット輸送に切り替えしたいところはあるが、kg運賃で契約しているため、作業時間は大幅に削減されるかも知れないが1台あたりの運賃が下がり、積載効率が下がるため余計にトラックが必要になりパレット積みのための作業員も必要になってくる問題もあるかと思う。青果物については接車時間はほとんど無い状況なので、荷卸先の市場等の状況に大きく左右されるのが現状である。

白石座長：ありがとうございました。他にご意見のある方はいらっしゃいますか。

石田自動車交通部長：

経済連にお聞きしたい。他県でも農業のパレット化が協議会の中で出ていたが、農協全体としてパレット化を推進して取り組んでいる県もあった。もし宮崎でもそういった取り組みをしている事例があれば教えて頂きたい。

岩切委員：輸送関係については去年・一昨年あたりからトラック協会の指導を受けながら取り組みさせていただいている。究極はパレット積みに移行しないと人がいないなど言うのは避けられないだろうと考えている。それについて段階的に待ち時間を減らすとか卸し箇所を減らすとか段階的にやらせてもらっている。一箇所卸しでないとパレット輸送のメリットはないかと思っている。そういう意味では一足飛びには出来ないが試行はしている段階である。JA間の横持ちはパレット輸送に移行していることもあるが、若干動きが鈍い状況である。

石田自動車交通部長：

報告した改善事例については比較的最近行ったものがほとんどであった。大半が1ヶ月前、2ヶ月前、今年に入ってから事例であり、その背景にあるのが人手不足と言うのが共通しているところである。人手不足に真っ正面から取り組もうというのが大手さんだと思う。そこに運送会社と話し合っ改善が実現されているところである。人手不足は運送会社、荷主双方の問題だと思って取り組んで進めていくことが重要ではないかと思う。地域経済の消費者であるので、お互いに強くなないと地域は活性化しない。お互い一緒になって考えていかないとその地域はなくなってしまう。今後のすすめ方としてどうしていくかという話になるが、今決まっているのは長時間労働改善ガイドラインの作成と普及のみである。地域で頑張るのであれば、改善事例、好事例をどんどん出してそれを真似ていく事や、冷凍食品の商習慣改善の着手であったり、互いに話し合っ行かなければ

ならない。来年度以降パイロット事業をやることは決定しているが、何をどうやっていくのかも決まっていない。主としては我々で考えることではあるが、地域の皆様方で困っていること、改善したいことについて是非意見を頂きたい。是非次回の協議会で方向性を出していきたいと考えているので、ご意見を頂きたい。

白石座長：関係者が一堂に会するこのような場はなかなか無い。メインのテーマ、目標はあるがそれに付随して色々な本音をお互い出していただける場にできればと思う。

本日委員の皆様から頂戴しましたご意見は、次回協議会における検討課題に反映して頂きますよう事務局にお願いします。

IV 宮崎労働局長 挨拶

本日は業界の皆様方から様々な具体的にお話しを聴かせていただきありがとうございます。座長が質疑の中でおっしゃったようにこの問題は様々なファクターが絡んでいて、荷主さん、事業者だけの問題ではなくユーザーをはじめ最初から最後まで全てのひとが関わった問題を様々な視線で解決しなければまならない問題であると改めて感じた次第であります。

労働局というと改善基準告示の関係で入っていると思われませんが、もう一つ大きな問題として人手不足、地域創生というファクターが絡んでくると運輸業界のみならず国民的な議論として様々な方々から意見をお聞きし、解決策を模索していくことが必要なんじゃないかなと本日の会議に出席させていただいて感じたところであります。本協議会は今後3年間続きますが、良い方向性が導き出せますようお願い申し上げます。

IV 閉会